

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、下記検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 何卒、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

- 実施日 : 即日
- 新規実施項目 : M2BPGi (MAC2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)
- 受託要項 :

項目コード	検査項目 (グループコード)	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
7644	M2BPGi (MAC2結合蛋白糖鎖修飾異性体) (7644)	血清 0.4mL	A1 ↓ G 凍結	CLEIA法	Cut off index 1.00未満 判定 (-)	2~10日	未収載	

測定施設: 保健科学研究所(※G)

【M2BPGi(MAC2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)とは】

肝臓の線維化進展のモニタリングに有効な糖蛋白バイオマーカーです。
 MAC2 結合蛋白は線維化の進展に伴い蛋白質部分の構造は変化せずに糖鎖構造に変化が生じます。
 この糖鎖構造が変化した異常糖蛋白質:M2BPGi(MAC2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)のみを測定することにより線維化を定量的に捉えることが可能となります。

▼M2BPGi(MAC2 結合蛋白糖鎖修飾異性体)の判定と意義

Cut off index	判定	意義
1.00 未満	陰性 (-)	非慢性肝炎
1.00 以上 3.00 未満	陽性 (1+)	慢性肝炎
3.00 以上	強陽性 (2+)	肝硬変

※生検検査によって判定した肝臓の線維化ステージと良い一致率を示しますが、まれに両者で異なる結果を示すことがあります。つきましては、測定結果に基づく診断については、他の検査および臨床症状等により総合的な判断をお願いいたします。

▼臨床的意義

肝炎治療において、肝臓の線維化の程度を評価することは臨床上有用であるといわれております。特にC型慢性肝炎ガイドラインでは、肝線維化の進展を評価することが治療法の選択において重要な指標になっております。

現在、肝線維化の進展評価では肝臓組織の一部を針で採取して行う肝生検が主流となっておりますが身体的な負担が大きいため、もっと簡単に肝線維化の診断が出来る方法が望まれていました。

このため、弊社では、肝線維化の進展に伴い優位に高値になり、肝生検との一致率も高いといわれると同時に既存の肝線維化マーカーとの比較でも高い診断能を有しているM2BPGi(MAC2結合蛋白糖鎖修飾異性体)を受託開始いたします。

▼検査方法参考文献

久野 敦:医学のあゆみ.249(8):666~670、2014